

TAC 電験三種講座

入江先生からのメッセージ

23.08.28



電験三種を取得して良かったこと

私は電験三種を大学(電気系)時代に取得しました。

そんな私が今に至るまでに電験三種を取得してよかったと思うこととしては、大きく3つ挙げられます。

- ①大学在籍中、専門分野の勉強に困らなかった。
- ②就職・転職先に困らなかった。
- ③将来に不安を覚えることがなくなった。

①について、電験三種を勉強する中で電気の基礎や電気に関する技術を広く知ることができたので、その後の学業は非常にスムーズに進みました。

②について、私は大学卒業後、電気系の製造業に就職し、その後電験三種を活用するため、設備管理会社に転職し、さらにその後TACの電験三種講師へと職を変えて、今に至ります。

これらの職はどれも電験三種と関係のあるもので、いずれも電験三種を所持している、ということから就職・転職は全く苦労せずできました。

改めて電験三種という資格の強さを実感したものです。また、難関資格を保有しているということが自信となっていたことも、苦労せずに転職できた要因の一つかと思います。

また、③について、先ほどの転職をする際、電験三種があるから転職失敗しても、何とかなると、将来への保険(安心材料)のようにも考えられ、その結果、自分にとってより良い職に就くことができました。

といった感じで、私の人生において、電験三種はかなり役に立つ資格でした。

電気を生活の軸とした現代社会にとって、やはり電気主任技術者は必要不可欠な存在です。

私のような活かし方は少々特殊ではあると思いますが、精神的な部分でも頼りになる資格となりました。

取得するまでは苦しい時もあると思いますが、必ず皆さんの力となる資格なので、取得した先を思い浮かべ、頑張りましょう！